



ひるば



一般社団法人Ogaki Junior Board

大垣青年重役会

平塚青年重役会

第46年度 第11号

平成24年6月25日発行

<http://www.ojb.jp>

第46年度スローガン 公の心を持ち、私業の本分を尽くそう！

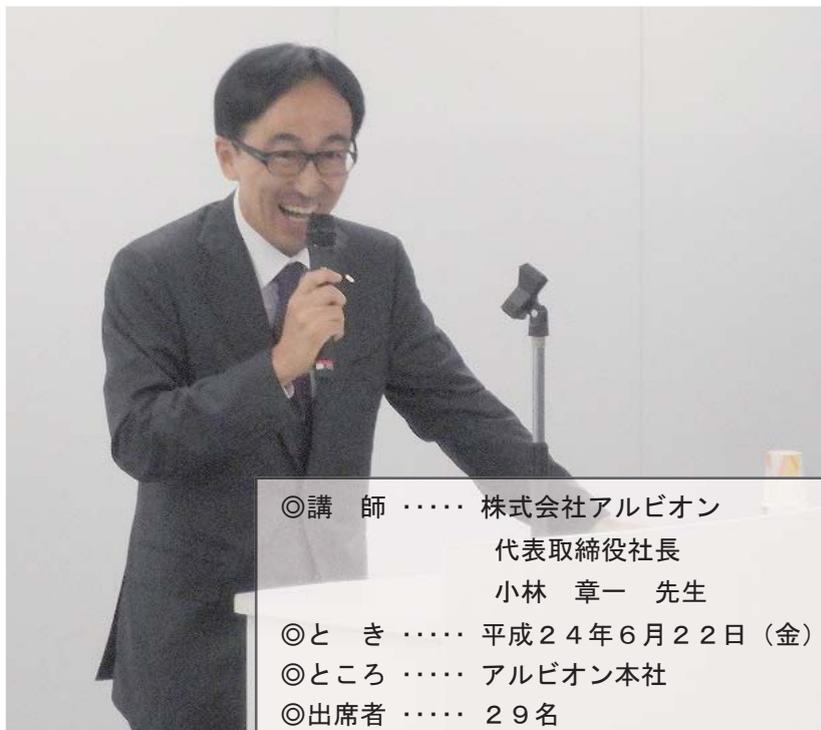
～第46年度研修旅行～

アルビオン工場と 東京スカイツリー見学の旅



☞ 会長挨拶の様子。

☞ 終始笑顔を決やさず、時には冗談で会場を沸かす小林社長。講演後は夕食もご一緒させて頂きました。ありがとうございました。



◎ 講 師 …… 株式会社アルビオン

代表取締役社長

小林 章一 先生

◎ と き …… 平成24年6月22日(金)

◎ と ころ …… アルビオン本社

◎ 出席者 …… 29名

ブランドの創り方

松田 俊治



まず、小林社長の満面の笑み、そして工場に出向き従業員から、率直な意見を吸い上げるひたむきな姿勢に、一流の企業の社長像とはこうあるべきなのかと考え、改められました。又、チャレンジへの失敗を許す風土の話や自分を過去の人と聞き、社員を育て自分はニコニコと見守るようなやさしい社長像を感じさせながらも、『夢』や会社の進むべき道、顧客幸福度の熱い話、又は無関心な上級管理職に「怒り狂う」とお聞きし、一流の製品やサービスを創り上げることに對する厳しさ、情熱を超える死に物狂いに近い圧倒的な統率力を感じさせて頂きました。

質疑の答えの中に「百貨店ブースの中で一日の売上0円が半年ぐらい続いた事があります。」と聞いた時、苦悩・苦境の経験が感動させる商品・サービスを継続して提供するための肥やしになっていると感じました。小林社長率いる株式会社アルビオンの強みの中核に触れる事が出来たような気がします。小林社長、貴重な研修をさせて頂きありがとうございました。

『職場は一将の影』

近沢 正



アルビオン化粧品・小林社長の本にある一文です。講演にて社長室がガラス張りとお話を聞き、自身の行動を社員にみせる事で意識改革を促すのだと、瞬間このような単純な解釈をしました。が、社員に意識改革を求める事自体が間違っているというのが小林社長の考えでした。言葉でどれだけ発しても本当に伝わることはごく僅か、トップがサボれば社員もサボる。トップが真摯に取り組みその姿を社員が見ることで、何かを感じてくれる社員がひとりでも出てれば、それが社の改革なのだと思えました。挑戦をするが残念ながら失敗した時の後悔、挑戦をしなかったという後悔、ずっと悔やむのは挑戦をしなかった時の後悔である。失敗を反省し次に備えて研鑽する事、そして次も必ず挑戦する事、これは目の前の小さな事からでも始められる、そして誰にでもできる事だと思います。この意識を忘れる事なく、自分で考え、正しいと思った事を信じて頑張っていく、そんな勇気をいただいた非常に有意義な研修でした。



46th

～研修旅行スナップ～

盛りだくさんな内容で、特に二日目はスケジュールがタイトでしたが
普段見学できない一流の施設に触れ研修する事が出来ました。

◆アルビオン熊谷工場見学◆

一人一人から丁寧な説明があり、
まさに感動するサービスのアルビオンでした。



工場長には一つ一つ丁寧に
ご説明いただきました。



◆富麗華◆

最高の中華料理を
ごちそうになりました。



◆ザ・リッツ・カールトン東京◆

最高の眺望で一日の
旅の疲れを癒す事が
出来ました。



特別会員憩いの場？
築地市場より一枚👍



◆渋沢史料館◆

残念ながら撮影NGでした。
正面玄関でパシャリ★



◆お台場◆

がんだむ～ガンダム！



◆築地市場◆

日本一の市場を駆け足で
お土産間に合いました？



◆東京スカイツリー◆

世界一の眺めを堪能しました。



★一流に触れる旅★

第46年度幹事長 北野 英樹

◆株式会社アルビオン熊谷工場見学◆

朝、岐阜羽島駅を出発し、真っ先にアルビオンの熊谷工場へ。新幹線のホームでは渡辺部長の出迎え、工場では工場長を始め大勢の幹部の方々のお出迎えを受け、感激！アルビオンという会社のホスピタリティーをいきなり経験することになりました。さて、初めて見る化粧品工場はというと、まるで一流の食品工場のような様子。徹底された衛生管理・品質管理のシステム、そして幹部の方の言葉の端々から、「最高級品を作るんだ！絶対に完璧でない商品は外に出さないぞ！」という気概を感じました。さらに、ある商品の説明の中で、製造工程でのロス率が50%にも届こうかという裏事情もさらけ出し、他業種では考えられない数字ですが、という意地悪な質問にも、アルビオンらしい商品を作る上では、そんなことは問題ではないとさらっと答えられたのには鳥肌が立ちました。

◆株式会社アルビオン本社訪問◆

満面の笑みでエネルギーにお話しされる小林社長。一見私は普通のおじさんで、すでに過去の人だと言い、自分のやってきたことは98%が失敗であると言い切る社長からは計り知れない器の大きさを感じました。

小林社長の根底にあるのは、失敗を恐れずチャレンジし続けようという強い信念と、人間に対する愛。その強い強い思いが工場に伝わり、営業に伝わり、美容部に伝わり、販売店に伝わる。そして驚くことに直接会うこともないお客様にも伝わっていく。イメージ戦略が重要な化粧品業界の中で広告宣伝費をほとんど掛けずに驚異的に売り上げを伸ばし続ける理由が分かったような気がしました。まさに「心のビジネス」です。

◆株式会社アルビオンとの懇親会「富麗華」◆

小林社長の計らいで、二つ星の中華料理をご馳走になりました。普段は口にできないおいしい料理とお酒をいただきながら小林社長を始め、渡辺部長、弓削社長室長と懇親を深め、会員同士が語り合う、最高の時間を過ごすことが出来ました。

◆渋沢史料館◆

さすがは研修の会 OJB。時間を持て余すかとの予想に反し、時間が足りないとの声が続出。遅刻者が出るほどみっちり近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一を学んでいました。

◆お台場◆

ここは会長タイム！会長を中心としたガンダム世代の時間でした。

◆東京スカイツリー◆

今、日本で最も熱いスポット。高さに合わせて、会員達のテンションもアップしていました。

◆総括◆

今回のテーマは「一流」。一流の工場を見学し、一流の経営者のご講演を聞き、一流の中華料理を食べ、一流のホテルに泊まり、日本一のスカイツリーに登る。これこそが、OJBの研修旅行の醍醐味ですね。良き仲間と楽しく触れた「一流」。たった2日間の短い時間でしたが、一生心に残る有意義な旅となりました。

小林社長を始め、株式会社アルビオンの皆様、JTBの山下様、そして会員の皆様のご協力で、本当に素晴らしい2日間となりました。心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



◆都合上皆様の感想は最終号（7月25日発行）に掲載させていただきます◆

第46年度

土屋顧問を
囲む会

貴重なお時間ありがとうございました。

業界改革派といわれる大垣共立銀行様の常にお客様が便利にお使い頂けるようにという精神を研修させて頂きました。



◎と き：5月23日（水）
19:00～21:00
◎と ころ：末 廣
◎参加人数：23名



後に伝説となる乾杯挨拶を増田歴代より頂きました。この後、雰囲気は一気に和やかになりました。

第46年度

岐阜経済大学 今年度もお世話になりました。
との懇親会

- ◎と き：6月13日(水)
19:00～21:00
- ◎と ころ：寿司会席たつみ
- ◎参加人数：18名

◆今期も一年間、研修委員会でお世話になった岐阜経済大学様
谷江学長・松井事務局長・そして一年間教鞭をとって頂きました。野松教授をお招きして、
懇親会が行われました。



☞谷江学長にごあいさつを頂きました。
☞最後に記念撮影を



☞野松教授には、一年間経済について、学ばせて頂きました。ありがとうございました。



☞2次会乾杯を羽田歴代会長より頂きました。ダンディーです。



第4回研修委員会

第46年度
研 修
委 員 会

- ◎と き：6月4日(月)
19:00～21:00
- ◎と ころ：岐阜経済大学
- ◎参加人数：22名

「将来を見据えた経営革新」
震災や円高による現地調達（代替企業）へのシフトが進む中、国内企業の存在価値を探す。潜在的なニーズを掘り起こし、革新的なビジネスを起こす事が必要です。
目指せ！オンリーワン企業！！



野松教授
一年間
ありがとう
ございました。

Information

お し ら せ

委員会活動

●第3回飲んで語る会(親睦委員会)
とき……7月9日(火) 総会終了後～
ところ……ラウンジ 紫苑
大垣市本町1丁目71
0584-74-3001
会費……4,000円

●第3回長期計画委員会(長期計画委員会)
とき……7月17日(火) 19:00～
ところ……あづまや旅館
大垣市高砂町1丁目11
0584-78-3554
会費……3,000円

H A P P Y B I R T H D A Y

江森 正会員	7月19日	吉田大助会員	7月17日
片桐大介会員	7月20日	石山隆一会員	7月22日
山口 猛会員	7月22日	佐竹紀皇会員	7月25日

～おめでとうございます～